

第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河 サミット宣言

第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、現地会場とオンライン配信の併用という新たなスタイルでの開催といたしました。

この 1 年半余りの間、世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会や日常生活だけでなく、価値観をも大きく変化させました。外出や会食などが制限され、乏しくなった実体験の機会は大変貴重なものとなりました。また、大都市のリスクが顕在化し、テレワークや在宅勤務が常態化する中で、暮らしや働き方が見直され、大都市圏から地方へ移住する傾向が見られています。

このような状況を踏まえ、今回のサミットでは「新たなニーズに選ばれる地域へ～アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化～」をテーマとし、事前に行われた分科会や本日のパネルディスカッションでは、コロナ禍により変化した新たな価値観にフィットし、選ばれる地域となるよう様々な意見が交わされました。そして、本地域のあらゆる資源が高付加価値化するポテンシャルを有しており、その価値をさらに高め、強く発信することで、地域全体の魅力増進につながることを改めて確認いたしました。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、県境を越えた広域連携の推進組織として、これまでの絆を一層強化・深化させ、第 2 次三遠南信地域連携ビジョンに掲げる多様な主体による新たな地域連携のプラットフォームの形成を進めるとともに、本地域の付加価値を更に高め、新たなニーズに選ばれる地域へと発展するよう、以下の項目について今後重点的に取り組んでまいります。

- 1 リニア中央新幹線の開業に伴うスーパー・メガリージョンの形成を期待するとともに三遠南信地域内の自由で円滑な移動を可能にする交通基盤の整備に向け、三遠南信自動車道の早期全線開通をはじめ浜松湖西豊橋道路の早期実現など、引き続き地域一丸となった提言活動を進めます。
- 2 革新を取り込む産業創造圏の形成に向け、三遠南信地域内の産学官の連携による既存産業の活力増進はもとより、革新的な技術やアイデアを持つ地域外の企業との融合による課題解決型実証実験の誘致・実施により、地域課題の解決、住民の QOL の向上、さらには地域の活性化を図ります。
- 3 天竜川・豊川の流域文化創造圏の形成に向け、地域資源の新たな価値を見出すとともに、コロナ禍における価値観の変化を好機と捉え、各地域の道の駅などを拠点としたマイクロツーリズムやサイクルツーリズムなど、安全で気軽に快適な三遠南信地域内の周遊型観光への誘客を進めます。
- 4 三遠南信地域内の様々な資源・人が生み出す魅力を活かした取り組みを通じ、「内」と「外」との交流を活性化することで、地域に担い手を呼び込み、人が人をつなぐ好循環を生み出し、いつまでも住み続けたい持続可能な地域の実現、ひいては安全安心な広域生活圏の形成を目指します。

これらについて、この場を共有する全ての主体が確認し、第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河のサミット宣言といたします。

令和 3 年 11 月 4 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河